

めぐみの森だより

2025年12月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

03-3480-4448

11月のお話し会は、秋の実りに感謝する『収穫感謝』についてのお話でした。日本でもすっかり、商業的なイベントとなっている『ブラックフライデー』ですが、北米の感謝祭が日本に定着したものです。感謝祭の起源は、ヨーロッパより信仰の自由を求めて渡ってきた清教徒が、新しい土地で生活をはじめましたが、冬の寒さが厳しく、飢えてたくさんの人たちが亡くなってしまいました。やがて春になると、その場所にもとから住んでいた原住民に助けられ、畑を耕し、作物を育て、秋になり最初の収穫を得ることができました。そのことを感謝して『収穫感謝祭』がはじまるとされています。

子どもたちには、ここまで詳しい話はしませんでしたが、「野菜は誰が育てている?」「そだつててるひと。」「のうかさん。」「野菜や果物がみんなの前に並べられたらどんな風に食べるといい?」「いただきますっていってたべる。」「かんしゃしてたべる。」「あじわってたべる。」「よくかんでたべる。」などなど。子どもたちの素直な思いをたくさん聞くことができました。みんながご飯を食べられるのは、いろいろな方が大切に育ててくれたり、料理をしてくれたりしている人たちがいるからだね。だから感謝してご飯を食べていこうね。と改めて伝えてきました。11月28日には、4,5歳児が収穫してきた野菜を使い収穫感謝祭を行い、子どもたちと協力して芋煮汁を作りました。幼児クラスでは、全クラスの扉を開け、『ふれんどりー』のグループで食事をしました。「こんなにたのしいことないね!」「たべすぎた。。。」なんて声も聞かれ、とても楽しい感謝祭となりました。

さて、12月のクリスマス会に向けて、3,4,5歳児クラスは、過去のビデオを鑑賞し、イメージを膨らませるところからスタートしています。各クラスがビデオ鑑賞するところをのぞきに行きました。前のめりに集中して見ている姿や、宿屋の歌と一緒に歌いながら楽しんでいる姿等様々でした。ひまわり組のAさんは、鑑賞中から、「わたしどうぶつがいい。」とはっきりやりたい役が決まっているようで、とくにその役がでてくる場面では真剣に見入っており、ビデオが終わると「わたしきまた!」と気持ちは揺るぎないようでした。そんなAさんの顔は、自信に満ち溢れているように見えました。役を決めていく中で、それがやりたい役に決まるといいのですが、同じ役を何人もやりたいと重なることがあります。役の相談をしようと想えていた日に、お子さんが欠席することもあるので、なかなかスムーズには決められず、担任も気が気ではない日々が数週間続きます。今年のゆり組でも、一つの役がなかなか決まらず、やりたい役が重なった子どもたちだけで話し合いの時間をもったり、何でその役がやりたいのか個別に思いを聞いたりしながら役決めを進めてきました。全員が希望通りの役になれないこともありますが、どの役(存在)も欠けることはできない大切な存在だということを伝えていき、役を通して一人ひとりも大切な存在だということが伝わっていくといいなと思っています。それぞれの役割を、ひとり一人が心を込めて演じることができるように共に日々を積み重ねていき、子どもたちと思いのこもった聖誕劇を作り上げていきたいと思います。

記:園長 藤本 紘子



今月のおすすめ紹介



ご家庭でもアドヴェントカレンダーを楽しんでいる方もいらっしゃいますか?保育園でもそれぞれのクラスで、12/1から毎日アドヴェントカレンダーをめくってクリスマスまでの日々を楽しんでいきます。事務室でも職員たちと、『リンツのアドヴェントカレンダー』を楽しめます。ひとつひとつの数字には、リンツのリンドールチョコが入っており、ちょっと高級ですが、いろいろな味があるので、どんな味があたるのか楽しみです!

アドヴェントカレンダーはいろいろな物がありますので、ぜひご家庭でも楽しんでみてください。

[アドヴェントカレンダー | リンツ チョコレート オンラインショップ](#)



豊富なフレーバーラインナップ
世界120カ国以上で愛されているリンツ。リンドールの
楽しみは、その豊富なフレーバーのバリエーションにも
あります。

